

令和4年度第3回神奈川県公立高等学校協議会
議 事 録

- 1 日 時 令和4年8月25日(木)
13時30分～14時00分
- 2 場 所 神奈川県自治会館8階 805・806会議室
- 3 出席委員等 田沼 光明 大澤 一仁 川名 稔 竹内 博之
柏木 照正 藤野 利夫 宮村 浩文 古俣 和明
川上 誠 山中 毅 増田 年克 北井 淳一
鴨下 博厚

(敬称略)

座長（山中委員）

定刻となりましたので、「令和4年度第3回 神奈川県公私立高等学校協議会」を開催いたします。前回に引き続きまして、本日座長を務めさせていただきます、私学振興課長の山中です。どうぞよろしくお願いいたします。

本日は大変御多用の中、お集まりいただき誠にありがとうございます。本会議は、原則公開とされています。取材、傍聴者等につきまして、既に入室されています。なお、本日は、神奈川県立高等学校長の代表井坂秀一オブザーバー、神奈川県PTA協議会代表の大木健一オブザーバーが御欠席となりますので、御承知おきください。それから議事に入ります前に、「かながわ教職員組合連合」及び「神奈川県高等学校教職員組合」から、8月18日付けで当協議会あての申し入れ文書が提出されております。文書の写しを机上にお配りしていますので、御確認のほどよろしくお願いいたします。

それでは、お手元の「次第」に従いまして議事を進めさせていただきたいと思えます。議題は前回に引き続きまして「令和5年度の『高等学校生徒入学定員計画』の策定について」です。前回もお話しさせていただきましたが、例年当協議会において、翌年度の公私の入学定員について協議を行い、公私間での合意を得た上で、その結果を神奈川県公私立高等学校設置者会議に報告しています。

協議に入る前に、前回の会議における議論を整理させていただきたいと思えます。前回の会議では、令和4年度入学者選抜の結果が報告されました。委員の皆様からは様々な御意見をいただいたところでもあります。その上で、令和5年度の定員目標の設定方法について、昨年度に引き続き、「公私各々が実現を目指す定員目標を設定する方式」によることを確認いたしました。また、定員計画におけるこれまでの成果に関する文書、文言につきまして、昨今の現状を踏まえ、「全日制進学率が向上してきた」という記載を、「『概ね』向上してきた」という記載に修正するという御提案がございまして、協議の結果、反映する方向となりました。この点以外は、時点修正を除きまして、昨年度の定員計画から文言の修正はないことを確認したところでもあります。それから、公私の具体的な定員の目標数値については、それぞれが持ち帰って、御検討いただくことといたしました。以上が前回会議の振り返りとなります。

それでは、このあと、公私それぞれから定員目標の検討結果を御報告いただきますが、合意文書について、座長案として前回の会議の結果を反映しておりますので、お手元の「資料3」の2ページをお開き願います。「2 定員計画の策定」の「(1) 令和5年度の定員計画の方式」の2つ目の・(ポツ) 2行目になります。「全日制進学率が『概ね』向上してきた～」ということで修正しております。こちらの座長案について、改めて確認したいと思います。御意見ありますでしょうか。

全委員

なし。

座長（山中委員）

それでは、この案とさせていただきます。続いて、定員の目標数値について、公私それぞれから御報告をいただきたいと思います。報告に当たりましては、目標

数値の考え方又は実現に向けた取組等がございましたら、併せて御説明いただけましたら幸いです。それではまず、私学側からお願いしたいと思います。どうぞよろしく願いします。

田沼委員

それでは、今年目標でございますが、15,000人とさせていただきたいと思っております。

昨年度15,000人を少し上回るという数値が増えており、今年中3人口も増えるということでございますので、15,000人ということで決定いたしたいと考えております。引き続き、学費支援制度等々のおかげで、私学へ来る人の人数が増えておりますので、公立の現状に鑑みながら、こうした数値で対処したいと思っております。

竹内委員

田沼委員からありましたとおり、870人ほど中3生が増えるので、私学としては今年目標から300人上乘せしても、十分に達成できる目標であろうと思っておりました。話にもあったとおり、今年の実績で15,000人を超えておりますので、私学としては15,000人を目標にしたいと考えています。ただ、全日制進学率が、公立から定員目標が出てきた段階で、どれくらい行くのかなという心配はありますが、90%は超えたいなと思っております。

座長（山中委員）

ありがとうございました。続きまして公立側からよろしく願いします。

増田委員

よろしく願いします。今回の公立の目標数値でございますけれども、前年度と比べまして400人の増を目標とさせていただきたいと思っております。全県において、クラス数で言えば10クラス程度の増加を見込んでおります。870人の公立中学校卒業生数の増加、そうした中ではございますけれども、公立高校におきましては昨年度の実績につきましても、前回御報告させていただいておりますが、若干、欠員の状況が拡大している中ではございますが、やはり公立として、しっかりと責任を持って生徒受け入れの体制を整えてまいりたいと考えているところでございます。増加に当たりましては、地域でありますとか、定員の充足状況でございますとか、今後の高校改革の動向などを踏まえながら学級増とする対象校については慎重に検討をしてみたいと考えているところでございます。以上でございます。

座長（山中委員）

400人増ということですが、定員目標を確認させてください。

増田委員

失礼いたしました。40,750人ということでお願いできればと思っております。

座長（山中委員）

ありがとうございます。それでは、私学側、それから公立側から御説明いただいた定員計画や目標数値などの内容について、御意見等を伺いたいと思います。今回、横浜市、川崎市、横須賀市の教育委員会の方々もいらっしやっていますので、順次、御意見をいただければと思いますので、よろしく願いいたします。

宮村委員

横浜市の宮村でございます。ただいま私立、公立の方から今年の実績、そして中3の人口増というところを踏まえて、十分検討された数値が挙がってきていると考えます。この目標設定につきまして、適正ではないかと考えます。

古俣委員

川崎市の古俣でございます。今、お話を伺いまして、やはり色々な実情とか状況とか、十分確認していただいた上で、出てきた数字と感じておりますので、数字としては適正であると考えているところであります。以上でございます。

川上委員

横須賀市の川上でございます。これまでの協議の流れからも、全日制進学率の向上を目指すということでも、公私とも目標設定として適切なものだと考えております。

座長（山中委員）

ありがとうございます。続いて、オブザーバーの方も順次お願いできればと思いますので、よろしく願いします。

北井オブザーバー

公立中学校長会代表の北井と申します。今、お話があったように、卒業生の数も増えるということも踏まえて、このように対応していただけるということで非常にありがたいと思います。ぜひよろしく願いしたいと思います。

鴨下オブザーバー

私学保護者会連合会の鴨下と申します。前回の会議を欠席いたしまして大変申し訳ありませんでした。今年の中3生、卒業生が増えるということと、あと私は、私学の保護者ですけれども、最近の私学に対する人気といいますか期待とかを見ておりますと、やはり私学の定員数はこれくらいの設定が望ましいというか、ふさわしいというように感じておりますので、今までの議論のとおりで差し支えないというように思っております。以上でございます。

座長（山中委員）

どうもありがとうございました。色々御意見を伺いまして、概ね賛同いただき、適正という御意見をいただきました。それでは、数値目標がそれぞれ40,750人、15,000人と

出ましたので、これが達成された場合に、全日制進学率がどれくらいになるのかを事務局の方で計算して発表していただければと思います。お願いします。

事務局

先ほど、公私それぞれから発表がありましたとおり、令和5年3月の公立中学校卒業予定者67,994人に対しまして、公立の定員目標を40,750人、私学の定員目標を15,000人とし、県外の全日制高校への進学者の割合を直近3年間平均の8.29%として計算しましたところ、全日制の進学率は90.3%となります。以上です。

座長（山中委員）

ありがとうございました。90.3%ということであります。それでは、その数値を踏まえまして、本日、公私それぞれ提案された数値目標について、それぞれ分かれて確認していただくため、会議を一旦休憩します。控室も用意しておりますので、そちらに移動していただき、ご確認していただければと思います。10分ほど時間を取りたいと思いますので、再開時間13時55分までに戻ってきていただきたいと思います。一旦、ここで休憩とさせていただきます。よろしくをお願いします。

休 憩

座長（山中委員）

それでは協議を再開させていただきます。提案された定員目標数の確認結果について、それぞれ御意見を伺いたいと思います。まず、私学の委員からお願いします。

田沼委員

私学で協議いたしました結果、これは妥当な数ではないかと考えております。公立が40,750人、私学が15,000人ということで来年度の募集を行いたいと考えております。

座長（山中委員）

続きまして、公立側よろしくをお願いします。

増田委員

ありがとうございます。公立につきましても、今、お話しさせていただきました公立40,750人、私学15,000人という数字につきましてもは妥当なものであるという結論になっております。私学側からも公立の状況等を踏まえていただいて、15,000人という数字をいただきました。本当にありがとうございます。今後もコロナの影響ですとか、中学生の進路希望が非常に多様化している現状、そういったものも踏まえながら、引き続きしっかりと取り組んでいきたい。そして目標数値に責任をもって果たせるように努力してまいりたいと考えております。前回も話題になりましたが、通信制への希望者の増加等、

今後先行き不透明な部分もございますが、引き続き私学の皆様と意見交換させていただきながら進めることができたらと思っていますところです。

座長（山中委員）

ありがとうございます。それでは私学、公立、それぞれ調整が整ったということになります。他の委員の方も御意見がございましたら、ここで聞いておきたいのですが何かございますか。

全委員

なし。

座長（山中委員）

それでは、公立の定員目標が40,750人、私立の定員目標が15,000人ということです。協議としてはこの数字でよろしいでしょうか。

全委員

異議なし。

座長（山中委員）

それでは、「資料3」5ページの網掛け欄に、公立は40,750人となり、私学は15,000人となり、文書が確定をいたしました。

議題のまとめに移らせていただきます。ただいま、公私の双方から提案いただいた定員目標数値、合意文書の内容については、御了解いただきましたので、令和5年度定員計画を最終的に整理させていただきます。そして、本日の協議において定員目標に係わる公私間の合意が整ったということで、9月5日に開催を予定しています神奈川県公立高等学校設置者会議の中で、私からも報告をさせていただき、そこで定員計画の最終決定とさせていただきたいと思います。それまでの間、この目標数値は、まだ正式に決定されたものではございませんので、改めて申し添えをしておきたいと思います。なお、最終的な文書の案や形式の微調整につきましては、恐縮ですが、私に一任させていただければと思いますので、よろしく願います。

最後に、その他ということで委員の方から何か発言があれば、お願いをしたいと思います。ございますか。

竹内委員

先程、計算していただいて、全日制の進学率が90.3%ということですので、あくまでも目標値なので、90%を割らないよう公立私立共お互いに、これから説明会等もありますので、全日制の魅力を是非アピールしていきたいと思います。公立側もよろしく願います。私学は、目標達成に向けて頑張れる自信をある程度持っています。

座長（山中委員）

ありがとうございました。私学も公立も引き続き目標達成に向けて努力いただければと思いますので、どうぞよろしくお願ひします。それでは、これもちまして、第3回協議会を終了させていただきます。誠にお疲れ様でした。どうもありがとうございました。